

## \*新着図書のご案内\*

### 国見図書館

#### 「日食・月食・オーロラ 太陽・月・地球の現象」 渡部 潤一(監修)

太陽が満ち欠けしているように見える日食。今年の7月22日、日本各地で、日食を観測できます。大分県では部分日食しか観測できませんが、鹿児島県の屋久島から奄美大島北部までの地域では、皆既日食を観測できます。皆既日食の時に見られるダイヤモンドリングは、この世で最も美しい自然現象と言われ、世界各地に日食ハンターを生み出しています。地域により、見え方が違うのは何故か、また、日食は、どうして起こるのでしょうか？

本書では、日食の起こる仕組み、観察方法をわかりやすく紹介しています。また月食やオーロラといった、日食に劣ることのない美しい自然現象についても解説してくれています。

本書を読み、家族や友達と日食を観測してみても、いかがですか？

### くにさき図書館

#### 「月のえくぼを見た男～麻田剛立」 関屋 敏夫(著)

麻田剛立(あさだごうりゅう)を知っていますか？ 剛立は、江戸時代に杵築で生まれ、藩医を務めながら、自作の望遠鏡で観察を行い、日本の天文学の土台を作った人です。三浦梅園と交流があったことでも知られています。

「月のえくぼを見た男」は、子どもにわかりやすく書かれた剛立の伝記です。お隣の杵築の人なので、知っている地名がたくさんできます。「麻田」の姓は、剛立の祖父の生まれ故郷、武蔵町の麻田から取ったもの。この本は今年の課題図書に選ばれていますが、親近感を持って読んで、感想文にもいいのでは？ 私としては、5歳の剛立少年が、一人黙々と影の観察をしていたエピソードが気に入っています。

### 武蔵図書館

#### 「だいじょうぶ」 鎌田 實/水谷 修(著)

本気でぼくらは考えた。ぼくらとは…

鎌田實(かまたみのる)、著書には「がんばらない」「あきらめない」など多数ある。そして、『夜回り先生』こと水谷修(みずたにおさむ)。

この二人による7ヶ月にわたって交わされた好感日記(往復書簡)。互いに現代社会の問題を掘り起こしながら綴られている。手紙の中心はこれからの社会を支える子どもたちや若者のこと。このヒゲヅラの男たちが共通して感じているものは、

「だいじょうぶ、だいじょうぶ、まだやり直しはできる」(鎌田)

「だいじょうぶ、だいじょうぶ、まだ優しさ残ってます」(水谷)

### 安岐図書館

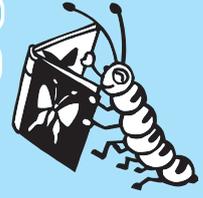
#### 「待ってくれ、洋子」 長門 裕之(著)

おしどり夫婦として有名な長門裕之・南田洋子夫妻。

南田さんが数年前から認知症を患い、長門さんが献身的な介護をしている姿をテレビでご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

この本の中で長門さんはおしどり夫婦の虚像と実像、洋子さんへの懺悔を赤裸々に語るとともに、介護することで新たに生まれた夫婦の絆を飾らない言葉で綴っています。老老介護はキレイごとではすまない深刻な問題ですが「洋子がかわいい。俺は今、幸せだ」と言いきる長門さんの深い愛に心打たれます。家族の介護をされている方やこれから介護をするであろう方に是非おすすめしたい1冊です。

# 図書館 だより



開館時間 午前10時～午後6時

## 図書館カレンダー 6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

■ は休館日。

30日(火)は資料整理のため休館です。

問い合わせ 国見図書館 ☎0978-82-1585  
 くにさき図書館 ☎0978-72-3500  
 武蔵図書館 ☎0978-69-0946  
 安岐図書館 ☎0978-67-3551

## \*図書館行事のご案内\*

### ◆国見図書館

おはなしひろば

熊毛幼稚園・保育所

12日(金) 午前9時30分～

国見図書館

13日(土) 午前9時30分～

竹田津幼稚園・保育所

27日(土) 午前9時30分～

### ◆くにさき図書館

おはなし会

14日(日) 午前10時30分～

27日(土) 午後2時～

### ◆武蔵図書館

おはなしのへや

3・10・17・24日(水) 午後3時30分～

移動図書館

吉広地区

18日(木) 午後1時30分～2時

武蔵西小学校

25日(木) 午後1時～1時30分

### ◆安岐図書館

ひまわりの部屋(おはなしと工作)

13日(土) 午前10時30分～